

街のホットな話題をお届けします



1/5
木曜日

**新年祝賀式で、新年の抱負
市長「災害に強い都市をめざす」**



瀬戸市と瀬戸商工会議所主催の新年祝賀式が瀬戸蔵で開かれ、地元経済界や行政関係者ら約350人が出席しました。

市長はあいさつで、「昨年の東日本大震災を受け、災害に対する備えの必要性を改めて痛感させられました。瀬戸市は、災害に強い都市をめざし、ハード・ソフト両面にわたり、安全で安心なまちづくりの一層の取り組みを進めます。」と新年の抱負を述べました。

続いて、市政の発展や公共の福祉に多大な貢献をされ、その功績が顕著な平成23年度の公益功労者7人と市政功労者6人を表彰しました。表彰者の氏名や功績など、くわしくは広報1月1日号4～5ページをご覧ください。



平成23年度 公益功労者の表彰



華やかな生け花

また、瀬戸蔵1階アトリウムには、華道拈華流の皆さんにより大きな生け花が飾り付けられ、出席者を華やかにお出迎えしました。

1/5
木曜日

**景気の上昇を願い
尾張東地方卸売市場で初競り**



南山口町の尾張東地方卸売市場で、早朝、新春恒例の初競りが行われ、100人余りの買受人が参加しました。

開始に先立ち、市長が「今年も安全・安心な食材を提供してください」、尾張東地方卸売市場の加藤恵三社長が「今年は辰年にちなみ、龍のごとく、天高く舞い上がるようにしたい」と、景気の上昇を願ったあいさつがありました。

初競りは、はくさいやみかんを皮切りに開始。競り人らは白い息を吐きながら、次々と競り落としていきました。

1/12
木曜日

**新春の大空へ
連凧80枚を凧あげ**

西保育園と水南保育園の年長児41人が、市役所前の瀬戸川河川敷で連凧80枚の凧あげをしました。

連凧は、牧野朋顕さん(日本の凧の会 東海支部)と年長児らが制作。連凧が大空へあがると、年長児らから歓声があがりました。風の影響で、凧が地面に落ちそうになると、年長児らは凧に向かって「がんばれ～」と声援を送っていました。

